

# ゆめサロン

## 便り

令和3年  
2月5日  
吉賀町ゆめサロン  
No.480

### 早春です。



みなさまお元気で過ごすごしのことと思います。

がりがりする様な霜に包まれた道の小さな草たちが明るいい朝日の中で輝いています。そんな中、高校生が自転車を通る姿を、出勤する人たちが重そうに自転車のペダルをふむすがたを、暖かい部屋にいて窓越しに見ながらパソコンに向かう時、いいのかなあと罪悪感が頭をよぎります。でも私は行くところがありません。度外を見ると霜は消えて明るい太陽に覆われています。



### やまゆりさん

遠い所からいつもありがとうございます。

○やり過ぎて 犬も嫌がる  
ウォーキング

…犬が疲れてきました。

○朝起きて 寝るまで続く  
“どっこいしょ”

…声を出さなきゃ動けません。

○寒（カン）の味

サケ・マス・ニシン タラ・サ  
ンマ

…寒くないと美味しくない。

○捨てたいと 出した古着を  
また仕舞う。

…誰か捨てて下さい。

この度もほどとする川柳の数々を、

ゆめサロンに投稿頂きありがとうございます。

山百合さんからの・・・のところは山百合さんがかかれたものです。読んでくださる皆様からたくさんのお褒めの言葉いただきありがとうございます。

○野鳥たち



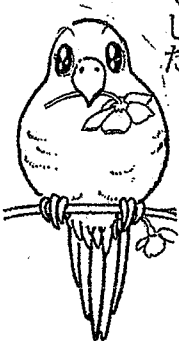
いつもゆめサロンでお世話になってる薬剤師の先生が、色んな野鳥を写真に写されて見せて下さったのですが

「こちらには野鳥を見る事があります。」といったら

「見る目でみないからだろう」といわれました。そこで

「コロナが怖いから野鳥も自粛しているのでしょう。」

と口答える可爱不いばあさんでした。



### お勤めの本

能美先生より

上杉鷹山 作者 童門冬二

この本は素晴らしかったです。読んでみてください。というこ

とでした。集英社文庫です。今は読書三昧で楽しんでおられるそうです。

### おしらせ



○十一月の定例会の時に原田先生が写して下さった写真をお配りしました。度々写していただいています。その時々様子はみな違いますね。原田先生が言われましたが写真は心を写すのです。写心です。と言われたことを思い出します。私も優しくなれるかと思えます。

○二月と三月の定例会はコロナ禍の為に休会とさせていただきます。皆さまの体を大切にお過ごしください。

# ゆめサロン

## 便り

令和 3年  
2月17日  
吉賀町ゆめサロン  
No.481

### 地震のお見舞い 申し上げます。

目も当てられないお気の毒な様子を拝見して、なんとお言葉をおかけたらいいのか、言葉も見つかりません。どうぞ一日も早く元の生活に戻られますようメンバー一同、お祈り申し上げます。

### 冬口です。



皆様こんにちは

お元気でいらつしやることと思えます。少し前まで光の春といつてうかれていましたのに又冬のような雪の景色に舞い戻りました。お体に気を付けてお過ごしくださいませ。

### やまゆりさん

#### コーナー

○紅白で 演歌の座る場所がない。

…ほとんどの歌は分からん！

○厚化粧 犬は吠えるし

孫は泣く！

…悲鳴かも！

○体重計 そっと乗ったが

増えていた！

…デブはデブです！

○ウグイスも 鳴き声とちる

早い春。

…まだ練習不足です

ありがとうございます。兵庫県の方から毎度楽しい作品を送って下さいます。ふっと笑みがこぼれる作品の数々、感謝しております。

### ゆめでよかった



二月猫とか恋の猫とかいいますね。そんなことを思っていたからでしょうか。夢を見ました。蔵の戸を開けて閉め忘れたため野良猫が入って蔵の中いっぱいに猫が増えて色んな模様の猫がいるのでどうしようかと困る夢でした。夢で迄苦労しなくてもいいのと思えます。蔵は私の住み家なのです。



### ひかりの春

二月初めのころを光の春と呼ぶのだそうですね。次に音の春、色の春と続くのだというのですが、鶯が下手な声で鳴き始めるのも、もうすぐですね。そっと耳を澄ます私です。

そういえば猫があおんあおんなき始めるのも、もうじきですね。音の春でしょうか。昨日は藤の蔓を二つ見つけて大喜びした私です。



### 同居の人

この前徳山に住んでいる徒弟と電話で話していたときのことです。なんか賑やかに音が聞こえるので、何の音かと聞きますと、

「ああ、あれは同居の方が鍋を洗っている音だろう」と言いました。

「奥さんでしょ。手伝いなさい」と言いましたが、その後聞いても手伝ったかどうか覚えていないそうです。

